

能登



被災地派遣について

~令和6年能登半島地震 志賀町応援職員派遣~

2025.3.2_辻堂地区防災講演会

加賀北部



■目次

- ▶令和6年能登半島地震(志賀町応援職員派遣)
- ▶自分でできる対策
- ▶日頃からやっておくこと



■志賀町の概要

【本庁】志賀町役場本庁舎

【支所】志賀町役場富来支所

※平成17年に志賀町及び富来町が合併

【人 口】 18,114人

【世帯数】 7,827世帯

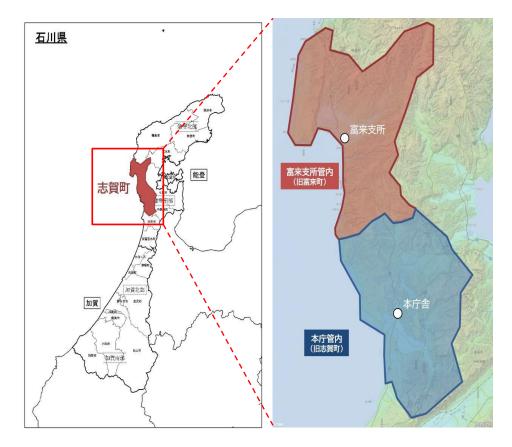
※令和6年2月末日現在



【人 口】 17,561人

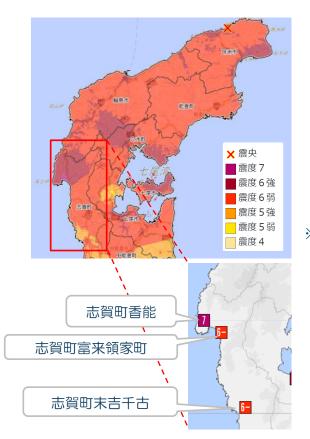
【世帯数】 7,711世帯

※令和7年1月末日現在





■被害状況



(1)人的被害死者2人重傷7人軽傷96人

(2)建物 全壊・半壊・一部破損 6,684棟

(3)避難者 400人(14か所)

(4) 断水状況 3月2日 → 解消

※令和6年3月8日時点、令和6年能登半島地震による被害等の状況について(106報)資料

かのう 【震度7】志賀町香能

りょうけまち すえよしせんこ 【震度6弱】志賀町富来領家町、志賀町末吉千古



■活動概要 (応急対策職員派遣)

	項 目	内 容 2024年1月19日~3月15日(うち44日間従事)		
	期間			
派遣者		第1次(県第3陣) 防災政策課 第2次(県第4陣) 市民自治推進課・開発業務課 第3次(県第5陣) 道路管理課・北部区画整理事務所 第4次(県第8陣) 六会市民切外・北部環境事業所・学校施設課 第5次(県第9陣) 危機管理課・石名坂環境事業所・道路管理課 第6次(県第10陣) 石名坂環境事業所・下水道総務課 12課 計14名 (事務職5、技術職(土木)3、技術職(電気)1、 技術職(機械)2、消防職2、 技能労務職(環境業務員)1)		
	業務内容	総括事務 = 富来支所連絡調整 物資関連 = 給水・物資受け渡し・物資仕分け 家屋関連 = 罹災証明発行支援、被害認定調査支援 避難関連 = 避難所運営支援		



■支援業務(総括事務・物資関連)

◆連絡調整・給水・物資

プッシュ型支援物資や、各種団体 からの支援物資は志賀町役場本庁 で受入れ、仕分けを行い各避難所 へ配送を行っている。

富来支所管内分は、本庁から富来 支所へ送られ、仕分けを行った後 に、管内の各避難所へ配送する。



国•県•支援団体等

志賀町役場本庁

富来支所へ配送

志賀地区へ配送

富来支所

富来地区へ配送

各避難所



■全体の流れ

富来支所に運ばれたお弁当や支援物資を各避難所の必要数に仕分け、配送の 準備を行う。その他、支援物資(ブルーシート・土のう袋)を配布する。



■物資の積み下ろし・振分け・積込み



①配送トラックを受入れ、 物資の荷下ろしを行う ②本庁からの配送表を基に 各避難所の人数分振り分ける ③配送トラック到着後、 積み込みを行い発送する











④ルート表以外の避難所は、 支所内の指定位置に運ぶ

⑤指定避難所 (富来活性化センター)

⑥自主避難所 (里本江会館など)











■避難関連

◆避難所運営支援

富来地区内の避難所1か所 の運営補助。



■家屋関連

- ◆被害認定調査支援
- ◆罹災証明発行支援

被害建物の外観を目視で調査(第1次調査)

被害認定調査の後、罹災証明書の発行手続き







■富来支所周辺状況①

家屋・ブロック塀・地盤・がけ崩れ















■富来支所周辺状況②













■指定避難所(富来支所管内)状況

















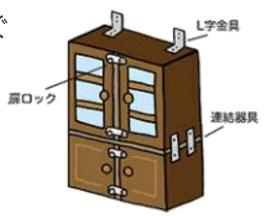
◆地震編

まずは我が家の安全対策

- ① 家具の転倒防止、家財の落下防止を行う
- ② ガラスの飛散対策を行う
- ③ 感震ブレーカーを設置して、通電火災を防ぐ
- ④ 家屋の耐震診断・補強・改修をする









◆地震編

自分の身を守るために

- ① 指定避難所の確認
- ② 避難ルートの確認
- ③ 避難生活に必要なものを備蓄する
- 4 ご近所づきあい







◆地震編

地震が発生したら、自分の命は自分で守る

- ① 危険な場所から離れる
- ② 頭を守る
- ③ 落ち着いて







◆地震編

揺れが収まったら①

- ① 火の始末と出口の確保
- ② 自宅の中の状況確認
- ③ 情報収集









◆地震編

揺れが収まったら②

その後 みんなで助け合う

- ご近所への声掛け
- 「一時(いっとき)避難場所」へ
- ・初期消火活動 など







◆地震編

揺れが収まったら③

その後 みんなで助け合う

- ・自宅が無事なら自宅で避難生活
- ・自宅での生活が難しい場合は「指定避難所」 で避難生活







- ・非常持出品や防災備蓄品のチェック
- 情報収集手段の確認
- 避難経路の確認
- 自宅周辺の安全確認
- 指定避難所や指定緊急避難場所への移動チェック
- いざという時の家族との連絡方法



非常持出品

避難するときに持っていくもの











防災備蓄品

被災後の生活のために備蓄しておくもの最低3日分(可能な限り7日分)を用意する







■ (参考) ふじさわ防災ナビ



日頃からできる事前の備え

食料備蓄とローリングストック

災害時には、食料や物資が不足する可能 性があります。被災したときの自宅での生活 に備えて、食料を備蓄しておくことが大切で す。ローリングストック (循環備蓄) により、 無理なく備蓄を行いましょう。

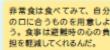


ローリングストックにおすすめの食材

備蓄食料は、日常使いにも便利な缶詰や 乾物、日持ちのする根菜類、芋類などを用意しておき、消費期限や賞味期限など を定期的にチェックする習慣を付けましょう。

			ストック食材		
	豆類	大豆の乾物・大豆水煮の缶詰など	苧類	じゃがいも・さつまいもなど	
	種子類	ゴマ・アーモンド・ピーナッツなど	野菜類	根菜類など	
	キノコ類	干し椎茸・キノコ類の缶詰など	魚類	缶詰・鰹節・にぼしなど	
	在實際	乾燥わかめ、東京、海茶かど	子の神	世帯区をのしたした会具	

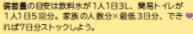
缶詰など)を家族の

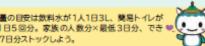




飲料水と簡易トイレの備蓄

災害時は水道や下水道、浄化槽等が使えなくなる場合があります。市販のミネ ラルウォーターなど、長期保存が可能な飲料水の備蓄と、使い捨て簡易トイレの 備蓄が重要です。





必需品! 非常用持出袋 ~準備品のチェックリスト~

「非常用持出袋」は、指定避難所等への避難が必要になった場合の大きな支え となります。チェックリストを参考に準備してみましょう。非常用持出袋は普段か らわかりやすい場所に常備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

避難するときは警段持ち歩いている貴重品も忘れないようにしましょう。

□飲料水 Drinking water	田勤や乾/じ/等 食料品 Groceries	□ 下撤 Underwear	防寒 着 Winter clothes	事手 Mork gloves	
Ė	00		A	Summ	
(1人あたり 500ml×3本)					
商具 Rain gear	対病の薬・ 常備薬	□ 体温計 Thermometer	□マスク Surgical mask	消毒液 Sanitizer	
簡易トイレ Portable tollet	──惊中電灯 Flashlight	□電池式ケータイ/ スマ水充電器	携帯ラジオ Portable radio	■ 予備の電池 Batteries	
(1台64)	-0	Partable bartery charger	á		
C/					

▶ いさというとき非常用持出袋に入れる真重品など

□ 財布 Wallet	通帳 Passbook	□ ED MEE Seal
ケータイ/スマホ Mobile phone	保険証 Insurance card	Criver's license
お業手帳 Redication record book		

■ (参考) ふじさわ防災ナビ







■ (参考) ふじさわ防災ナビ

事前準備の注意点

高齢者がいる場合

咀 曙 や嚥下が困難な方がいる場 合、普段から食べ慣れている食品を用

意しましょう。また 高齢者はのどの渇き を感じにくく、脱水 症状になりやすいた め、水分補給を心が けましょう。



食物アレルギーがある場合

被災時には、対応した食品が手に入 らない可能性もあります。摂取可能な 食品を多めに備蓄しておきましょう。



持病がある場合

普段から病院や薬局で使用してい るお薬手帳は、すぐに持ち出せるよう

にしましょう。 貴 重品と一緒に普 段から持ち歩く と安心です。藁も 忘れずに準備しま しょう。

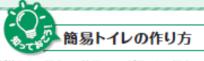


ペットを飼っている場合

ベットフードやベットシーツの備蓄は 多めにしておきましょう。 ペットと一時 的に離れる可能性もあるため、名札やマ イクロチップを付けておくと安心です。







トイレが使えない場合や、簡易トイレが足りない場合は、下図を参考に作っ てみましょう。









段ポール籍の上部を 丸く切り取る。

ビニール協をかけ、 穴に落としこむ。

袋の中に新聞紙などを

※効果袋や消臭剤で臭いの対策をしましょう。

災害への心構え

就奪中、什事中、通学中、運転中、家族全員が違う場所にいるとき…… 災害はいつ発生するかわかりません。しかし、日頃からの備えと心がけで、被 害を最小限にし、被災時の生活をより良く過ごすことが可能です。

部屋の中は片づけておこう

通路にものがあると避難の妨げになります。 また、収納は下段に重いものを入れ、背の高い 家具は倒れても問題のない場所へ設置し、必ず 固定する等の対策をしましょう。



日用品は1つ多くストックしておこう

常にストックを作 ることで、被災時の 生活に安心をブラス しましょう。



大切なものは2階以上へ設置しよう

浸水を考えて、 大切なものは2 階以上へ保管しま

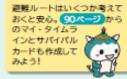


家族で話し合おう

家族で防災について話し合いましょう。避難ルー トや避難所の確認、家族 がパラパラになった場合の

集合場所や連絡掲示板な ども決めておきましょう。





地域と交流しよう

近所の方と挨拶を交わすなど、顔見知りを増 やしましょう。災害時の声掛けや助け合いがし やすくなります。



防災訓練などに参加し、いざというときの 取り組み方を知っておきましょう。







情報収集の手段①

◆メール配信サービス

「ふじさわ防災ナビ~防災・気象情報メール」



「防災・気象情報メール」登録用QRコード ※空メールを送信してください

◆X (旧Twitter) @Bousai_Fujisawa 「ふじさわ防災ナビ~X」



- 防災行政無線放送内容の要約配信。
- ◆避難情報緊急割込放送
 - 「防災ラジオ」





情報収集の手段②



藤沢市防災アプリ

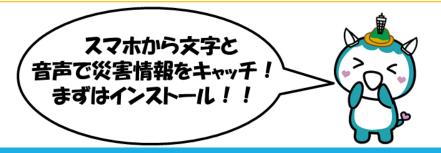
HAZARDONの特徴

- ◆ハザードマップの確認ができる
- ◆配信される藤沢市の気象情報等をプッシュ通知で受け取ることができる
- ◆防災行政無線の放送内容等、藤沢市からの防災情報をお知らせとして受け

取ることができる









情報収集の手段③





マイ・タイムラインの作成

「マイ・タイムライン」とは、台風等の接近による大雨によって河川の 水位が上昇するときに、安全に避難するために事前に考えておく、自分 のための避難行動計画表。

年齢や家族構成、住んでいる場所によって避難する場所やタイミングは変わる。

自分に合った避難計画を作ることで、災害発生時には、事前に作った マイ・タイムラインを参考に行動することができ、いざという時に慌てず に避難することができる。

■ (参考) マイ・タイムライン



STEP1 住んでいる地区の災害リスクを知る

STEP2 避難場所・経路を調べる

STEP3 避難情報や気象情報等から自分の「避難の目安」 を考える

STEP4 非常用持出品(避難の時に持っていくもの)

STEP5 自分や家族が避難を完了するまでの行動を イメージしてみる

STEP6 マイ・タイムラインの記入が完了したら、行動に 無理がないか確認をする

(参考)いざという時の家族との連絡方法









ご清聴ありがとうございました

